

# 知床五湖の利用のあり方協議会（第28回）

## < 議事録 >

1) 日時：平成25年1月28日(月) 14:00～16:30

2) 場所：知床世界遺産センター レクチャールーム

3) 議題：

- (1) 平成24年度モニタリング調査の結果について
- (2) 知床五湖登録引率者審査部会報告
- (3) 利用推進・広報戦略部会（ウェルカム部会）報告
- (4) その他

4) 資料：

- 資料1 - 1 平成24年度モニタリング調査のまとめ
- 資料1 - 2 知床五湖の利用者意識の比較と渋滞予測
- 資料1 - 3 知床五湖を訪問しなかった旅行者の意識について
- 資料2 - 1 第15回知床五湖登録引率者審査部会（議事メモ）
- 資料2 - 2 平成25年度ヒグマ活動期次期運用試行実験（案）について
- 資料3 クマレク見て得 キャンペーン（案）企画について

参考資料1 知床五湖植生・浸食状況調査の結果報告

参考資料2 知床五湖駐車場の渋滞発生状況について

参考資料3 知床五湖と他地域における入り込み比較

## 5) 議事概要 :

**環境省** : 開会挨拶

### (1-1) 平成24年度モニタリング調査の結果について

知床財団秋葉が資料1-1に従い、五湖植生・歩道浸食モニタリング調査、利用のアンケート調査、渋滞調査の結果を報告

#### 質疑応答

**環境省** : 観光協会に質問するが、今年度の10月は斜里町の宿泊者数が好調だったが、理由をどう考えるか。

**斜里観光協会** : 特に理由はないと考える。昨年は震災の影響により大きく落ち込んでおり、その回復分と考えられる。特に昨年度の10月の入り込みは少なかった。

**環境省** : この10月は遺産センターなどでアジア系の来館者が多く見られたが、宿泊数にも反映したということか。

**斜里観光協会** : 今年度は総じてアジア系の来訪者の宿泊数は減少しているが、10月に少し回復が見られた。

**知床財団** : 今年度の10月の連休は好天で、知床五湖の利用者数は多かった。五湖では、今シーズン2番目に深刻な渋滞が10月に発生している。

**ユートピア** : 10月は船の欠航が多かった。

**知床財団** : 船の欠航と五湖駐車場の渋滞発生日が重なっている日もある。

**ガイド協議会** : 個人と団体の関係はどうか。どちらの伸びが貢献しているのか。団体利用者の伸び率と利用総数の関係は？

**知床財団** : 月によって傾向が異なるが、総じて今年の五湖では、自家用車(個人利用者)が伸びている。9月、10月は団体利用者が伸びた。

**環境省** : 夏休み期間は個人が多く、9月、10月は団体が多い傾向だ。過去の渋滞指数をみると、9月の渋滞は、船の欠航や祝祭日等の連休が影響している。

**ウトロ地域協議会** : 地上歩道上に敷いている木道の整備状況はどうなっているか。すれ違い等で植生が傷つきやすい箇所での対策はどうしているか。

**オホーツク振興局** : 11月に、廃道となった1湖畔の木道を撤去する工事を行い、不要となった材木を用いて地上遊歩道入口~第5湖間のぬかるみ対策を行った。来年度開園前にまた状況を確認する予定だ。

**ウトロ地域協議会** : 2湖周辺の浸食が気になるが、対策はどうなっているか。

**自然公園財団** : 雨が降ったときは、従来通り湖に流せるところは水切りをして対策を行っている。現時点において2湖周辺では、水たまりの水を湖に流し込む方法しかない。

**ウトロ地域協議会** : では、2湖周辺は木道を敷く等の対応は行っていないということか。

遊歩道の浸食防止の観点から、早めの対策が必要と考える。

**オホーツク振興局**：雪が溶けたら状況確認を行い、できるものに関しては早めに対応したい。

## (1 - 2) 知床五湖の利用者意識の比較と渋滞予測について

知床五湖来訪者の意識調査とその経年比較、知床五湖駐車場の渋滞予測について北海道大学愛甲先生よりパワーポイントおよび資料1 - 2を用いて説明。

### 質疑応答

**ウトロ地域協議会**：凡例の表現は、設問内容に即した表現にしたほうが分かりやすい。

**愛甲先生**：そのように改めたい。

**ウトロ地域協議会**：外部要因（船の欠航など）と五湖駐車場の渋滞との関係性についての検討はしているか。関連性が充分にあると思われる。

**愛甲先生**：データがあり分析可能と思われるので、今後検討対象としたい。ただし、観光船が欠航した日は必ず渋滞が発生するかということ、そうではない。遊歩道が散策できないほど悪天の際は当然、五湖の来訪者数も減少する。例えば、晴れていても強風等で観光船が欠航した時などに駐車場の渋滞が発生する傾向がある。渋滞の要因は複合的に考える必要がある。また、マイカー規制期間外や、五湖の地上遊歩道が閉鎖している際には、カムイワッカが渋滞する傾向がある。こうした要因等も併せて検討したい。

**エコツーリズム推進協議会**：ガイドの駐車車両は渋滞に影響しているか。

**愛甲先生**：ガイドの車両は、駐車台数全体から見ると少数であり、影響が少ないとの理由で分析対象から除外している。ガイドの車両が渋滞の要因という可能性は低く、逆にガイドツアーの参加者がそれぞれ五湖まで自家用車で来訪した場合、渋滞を加速させる可能性がある。ヒグマ活動期は、駐車時間が長いですが、全体で見ると大きな関連性は見出せない。

**ガイド協議会**：外構工事により、ガイド車両用の駐車スペースが設けられたことから、駐車時間の実質増にはなっていないのではないかと。

**環境省**：現状では、ガイドによる送迎ではなく、五湖現地集合というツアーもある。ツアー参加者の平均滞在時間は4時間と長く、自家用車で集合した場合渋滞を加速させている可能性はある。

**ユートピア**：渋滞緩和のため循環バスの活用といったアイデアもある。

**環境省**：循環バスを考える際、乗り換え場所の課題があるだろう。今年度マイカー規制時、自然センターの駐車場が混雑した。これはヒグマ出没などにより地上遊歩道が閉鎖した際に、ガイドが（五湖以外を案内するために）自然センターを集合場所にしたため。このような時に自然センターの駐車場があふれた。渋滞を緩和できるような全体的なシステムの検討も必要。

**ユートピア**：利用時間帯の分散により渋滞が緩和するとすれば、早朝の時間帯への誘導も渋滞緩和となり得るか。日照時間が長い時期は早朝をうまく利用するとよいのではないかと。

**愛甲先生**：そういった誘導の仕方もある。現在も行われている渋滞予測カレンダーのような情報をもっと浸透した場合、どのような時間帯、条件に利用者の行動が変化するか、分析・検討する余地がある。

**愛甲先生**：年齢も関係しているが、情報源が行動に影響している。団体客は、旅行会社やバスガイドからの情報がメイン。自然観察派は若い層が多く、インターネットからの情報がメイン。

**ユートピア**：夜の動物ツアーのように、斜里バスなどが早朝トレッキングなどを行うことで、多くの利用者を誘導できるのではないか。そうすることで、午前中の渋滞を緩和できるのではないか。

### ( 1 - 3 ) 知床五湖を訪問しなかった旅行者の意識について

知床を訪れた利用者への意識調査等の結果について北海道大学庄子先生よりパワーポイントおよび資料 1 - 3 を用いて説明

#### 質疑応答

**庄子先生**：今回の調査は郵送回収法で行っているが、アンケート配布時に訪問先については口頭で聞き取りを行っているため、アンケート対象者の行動についてはほぼ把握している。今回の結果には含めていないが、旅行者の行動分析については今後検討したい。

**斜里観光協会**：調査の実施場所は、宿泊場所が一番よいと思う。

**庄子先生**：自分で声をかけて行ったので、公共の場を選んだ。

**斜里観光協会**：協会で協力もできるので必要な際には声をかけてほしい。

### ( 2 ) 知床五湖登録引率者審査部会からの報告について

環境省野川が資料 2 - 1、2 - 2 に従い内容を説明

#### 質疑応答

**環境省**：来年度ヒグマ活動期の実験期間は決まってないのか。

**環境省**：まだ決まっていない。期間を通じて、それぞれの時期に即した実験を行う予定だ。

**ガイド協議会**：ヒグマ活動期においては、ガイド協議会は当日受付カウンターを設置する等の対応を行ってきた。当日散策を希望する利用者に対し、すべての枠がいっぱいで紹介出来ないことも多かった。増枠になれば、利用機会の拡大につながるはずだ。枠が埋まってしまうと紹介はできないが、当日受付カウンターの運営コストはかかる。利用者へのサービスという面と当日カウンターの継続性という面を考慮し、増枠と専用枠の割り当てをお願いしたい。

**環境省**：当日受付カウンターについては、本年度の収支はマイナスだった。一方、当日受付カウンターによるサービスの評判は良い。今後の方針については、登録引率者とガイド協議会で協議中だ。

**ウトロ地域協議会**：実験案の中身が詳しくわからない。登録引率者の意見は反映している

のか。

**環境省**：審査部会においては、3名の登録引率者が代表として出席し、意見交換している。現役の引率者からは、ツアーの静寂感を確保したいという意見が多く、追い越しや2ルート併用といった実験案については否定的であり、増枠実験について前向きな意見だった。まず、切実な問題となっている枠数の限定を解決するために増枠実験を行い、その状況を見ながら他実験を進めていく予定だ。

**ガイド協議会**：登録引率者側からの提案をベースに議論を行っている。

**環境省**：当日受付カウンターへの専用枠割り当て等の課題についても、登録引率者の代表とガイド協議会が協議し、部会に提案された。

**ウトロ自治会**：4つの実験案のなかで、増枠実験のみ実施の方向だが、他の3つの実験案も継続審議にすべきではないか。

**環境省**：増枠実験に着手した後、他の3つの実験案についても検証してく姿勢だ。

**環境省**：事務局である環境省は、他の3つの実験案についても前向きに検討する意向だ。今日は、こうした方向性についても承認いただきたい。

**ウトロ自治会**：現状のヒグマ活動期のルールは、かなりきつい規制と考える。2年間実際に運用してきたことで、4つの実験案に対応する課題が指摘されている。小ループ案(2ルート併用案)は時間のない利用者にとってかなり魅力があるのではないか。

**ガイド協議会**：2時間でツアーを行う実験案は、団体客も利用できる可能性が広がる。一方、登録引率者の数や安全確保、静寂性の確保等さまざまな課題が指摘され、実施が難しいという結論に至った。

**エコツーリズム推進協議会**：登録引率者が増えれば実施できる可能性はあるが、現時点では難しいということか。

**環境省**：この制度ができたそもそもの理由(ヒグマとのトラブル回避や混雑感の解消など)がぶれなければ、今後制度が変わっていく可能性は十分ある。柔軟に対応していきたい。

**環境省**：2ルート併用案については、静寂感の確保と混雑感の変化がネックだ。そもそも五湖の地上遊歩道に何を求めるのか、についての議論も必要。

**環境省**：これで終わりとは全く思っていない。じっくり議論しながら進めていきたい。来年も再来年もどんどん検討を進めたい。

**斜里観光協会**：利用者へのアンケート等から評価を把握しているのか。

**環境省**：五湖 FH からの日報によって利用者からの評価や意見などは把握している。課題を前提に議論をしているが、すべて利用者のニーズに応えられるわけではない。

**斜里観光協会**：現状のヒグマ活動期の利用方法ではリピートしなくなる恐れがある。枠の問題のみならず、利用方法の多様化に目を向けてほしい。

**ウトロ自治会**：知床の楽しみ方としていろいろな提案が必要。多様な楽しみ方が可能なルールを整備し、利用者にサービスすることが私たちの義務。

**ガイド協議会**：枠が増えて登録引率者が増えないと、さまざまな問題が発生する。五湖す

べてを周るか、五湖そのものに行かないか、という選択肢になっている印象。第2湖だけ見たい人にも対応すべき。小ループのほうがヒグマとの遭遇率は低いと仮定すれば、引率は現在のような研修を経て登録される登録引率者に限らなくてもよいのではないか。また、実験枠ということで登録引率者に限定しないという考え方もある。

**ウトロ自治会：**ヒグマ出没により大ループが閉鎖した場合、2ルート併用案では小ループのみ開放ができるという考え方もあるのか。

**環境省：**2ルート併用案は、回転率が高くなるため、登録引率者が足りなくなる恐れが強いが、5月などの閑散期においては様々な実験を行うことができ、利用者のニーズや評価も明らかにできるのではないか。

**知床財団：**現状のヒグマ活動期の利用方法は、五湖すべてを周る3時間のツアーか高架木道のみという両極端な選択肢しかない。現場の感覚としても、中間の手軽さを求めるニーズは存在すると感じる。一方、利用者のニーズは常に多様であり、これに対応し続けると五湖の利用のコンセプトそのものが揺らぐ恐れがある。利用者のニーズに応えるのではなく、あるべき利用の体験を地元から提案する姿勢も必要。

**ガイド協議会：**増枠は静寂な五湖の体験と相反する。調整は非常に難しい。どこまでも多様化するのは難しいが、極端すぎるのもどうか。

**環境省：**五湖の利用制度は、ヒグマ対策・植生保護・静寂感確保を目的とした制度なので、それを見失っては元も子もない。知床五湖のブランドイメージを確保しつつ、各種実験を進める姿勢が必要。

**ガイド協議会：**制度開始前から五湖すべてを周回する利用者の割合はそこまで多くなかった。高架木道の終点から地上遊歩道に少しだけ降ろすだけで満足するのではないか。

**ウトロ協議会：**来期に各種実験を実施し、検討する方向に賛成だ。

**環境省：**各種実験については審査部会で議論するとして、まず、来期増枠実験を実施すること、その際に当日受付カウンターに専用枠を割り当てることに関して承認いただけるか。

一同：承認

### (3) 利用推進・広報戦略部会（ウェルカム部会）からの報告について

知床財団寺山が新規キャンペーン企画「クマレク見て得 キャンペーン」企画について資料3を用いて説明

#### 質疑応答

**ガイド協議会：**ヒグマレクチャーについて、より広くより多くの来訪者に見て頂く、という目的ならば、レクチャーを行える人を広く認定し、ホテル等様々な場所で事前に実施することはできないのか。知床に来る観光客のリピーター率は、実はあまり高くないため、宿泊施設などで利用者に五湖で受講するレクチャー映像などを見せて事前情報を与え、五湖とはどのような場所か、制度への理解向上を目指すべきではないか。これはクレーム対

策にもなる。五湖以外で事前に映像を見せることはできないか。

環境省：可能性はあるが課題は多い。

知床財団：個人的には、多くの方が見ることの効果はあると思う。ただし、現行の制度では想定されていない。

ウトロ地域協議会：(レクチャー受講済みの情報等を)どこかで一元化できればよいのではないか。

ガイド協議会：ヒグマ対策についての趣旨は十分理解、賛同するものだ。事前に五湖以外の場所で実施することで混雑緩和等の効果も期待できる。なぜできないのか、理由を教えてください。

斜里バス：今後の検討事項とし、今後実現可能性について協議すべきではないか。

環境省：ビデオの映像については、著作権などの縛りがあり外部での上映はできない状況だ。

環境省：レクチャーへのご意見は伺うが、この新規キャンペーンを行うことについては賛同いただけるか。

一同：協賛店がなければ始まらない。早めに着手すべき。

斜里バス：とりまとめは、知床財団が行うのか。

知床財団：その通りだ。

環境省：キャンペーン企画については、承認でよろしいか。

一同：承認

## (6) その他・連絡事項

ウトロ地域協議会：五湖の駐車場拡張計画についての進捗はどうか。

環境省：環境省として前向きに検討しているところだ。

ウトロ地域協議会：詳細な計画については、協議会の場で図られるという理解でよいか。

環境省：検討は進んでいるが、細かいことは未定だ。ただし、拡張工事は地形等の要因により大方の計画が決まってしまう。いくつかハードルがあるので、協議会で議論しながら進めたい。

次回：3月ごろ開催予定

閉会挨拶

【閉会】